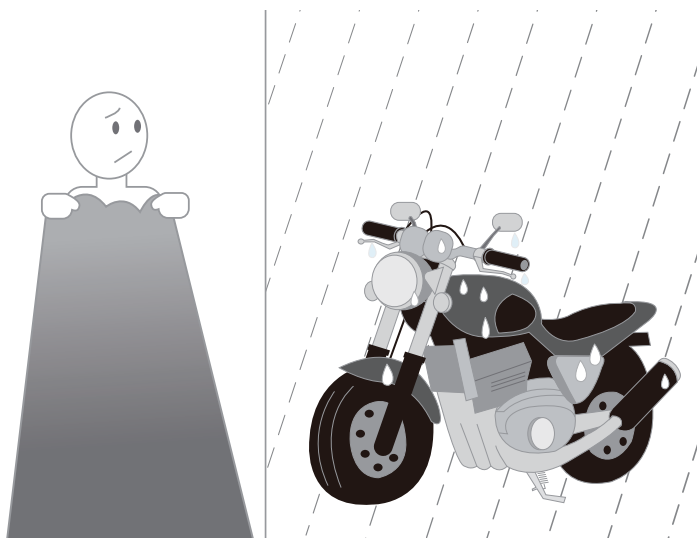


# バイクカバーの上手な使い方

## Case1

雨でバイクが濡れている場合はバイクカバーをかけていいの？

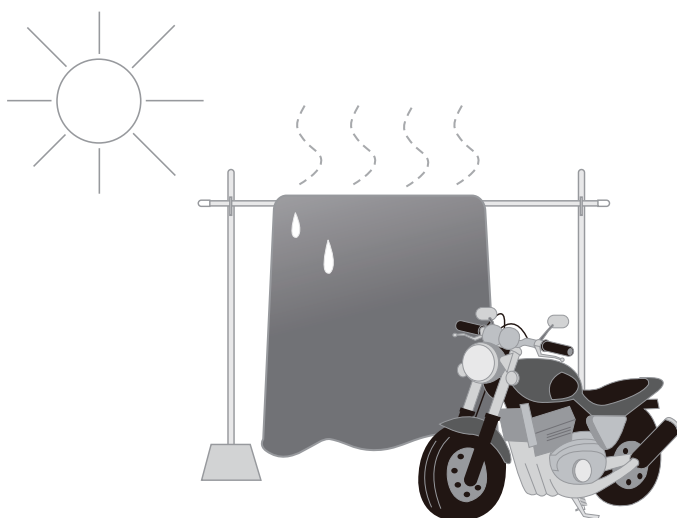


車体が濡れている場合はカバーをかけないでください。車体が濡れていると、水気によりバイクカバーの内側が車体に吸着することで不必要な摩擦が生じ、雨水に含まれたゴミ(砂利やほこり等)が、傷の原因となります。

そのため、バイクカバーは車体の水分やゴミを除去してから装着するのが好ましいです。

## Case2

雨で濡れてしまったバイクカバーはそのままでいいの？

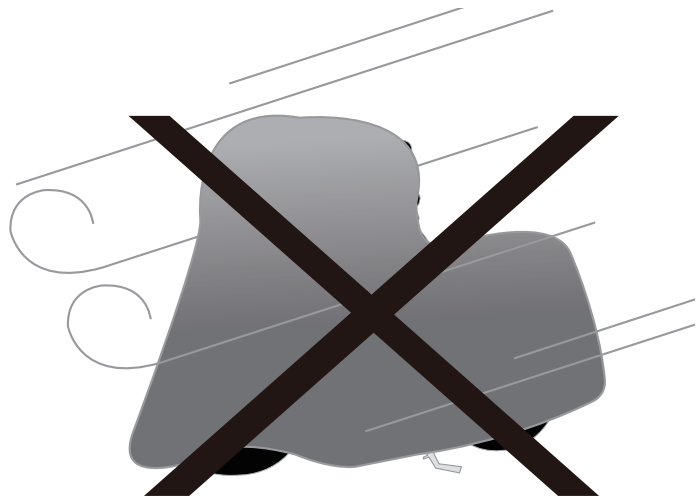


バイクカバーは雨があがってもすぐに乾かないので、車体から外し、完全に乾燥させたくてご使用ください。雨があがった後でも、地面が濡れている場合は、カバー内部が結露して塗装を侵したり、金属面にシミを発生させる恐れがあります。また、濡れていない状況でも、カバー内外の気温差等により結露が発生します。定期的にバイクカバーを外して換気してください。

乾燥後に撥水スプレーなどを施工することで、製品の撥水性が維持されバイクカバーの寿命を延ばすことができます。

## Case3

強風(嵐や台風)の時は、バイクカバーの使用を避けたほうがいいの？



台風や嵐の強風時は、基本的にバイクカバーの使用を控えてください。

バタつきが生じ、車体への擦れ、衝突を招いて傷の原因となる恐れがあります。

また、車体の塗装状態や擦れ方によっては、風の影響で塗膜を剥がしてしまうことも予想されますので、強風時以外もバタつき防止ベルトの使用を推奨します。